

2012 年度 大阪ガスグループ経営計画

平成 24 年 3 月 13 日
大阪ガス株式会社

1. 2012 年度の重点課題

東日本大震災以降の変化に対応し、我々が変革することに挑戦する年、「チェンジ&チャレンジの年」と位置づけ、2012 年度は以下の重点課題に取り組みます。

1. すべてのお客さまに、より進んだ安心・安全を
2. 天然ガス・分散型エネルギーシステムで新たな社会を
3. 新たなビジネスモデル、更なる投資の拡大を
4. 社会・地域とより強固な絆を

大きく変わろうとしている世界・国内情勢、それらを踏まえた企業・消費者の行動、意識の変化、エネルギー価格の変動、エネルギー政策見直しに向けた動きなど、2012 年度のグループ事業をとりまく環境は不確実性が高いものであると想定しておりますが、経営計画達成への取り組みを通じて、ビジネスフィールドの拡大と、強靱な事業構造の確立を図り、「Field of Dreams 2020」実現に向けて着実に前進してまいります。

2. 収支計画

2012 年度は、連結の売上高は 1 兆 3,630 億円、営業利益は 900 億円、経常利益は 900 億円、当期純利益は 570 億円を計画しています。

	グループ連結			大阪ガス個別		
	2011 年度 見込み (億円)	2012 年度 計画 (億円)	増減率 (%)	2011 年度 見込み (億円)	2012 年度 計画 (億円)	増減率 (%)
売上高	12,910	13,630	+5.6	10,230	10,930	+6.8
営業利益	710	900	+26.8	360	575	+59.7
経常利益	700	900	+28.6	405	630	+55.6
当期純利益	435	570	+31.0	275	435	+58.2
SVA	107	238	---	-3	168	---
ROA	2.9%	3.7%	---	2.4%	3.6%	---
ROE	6.2%	8.1%	---	5.1%	7.8%	---

2011 年度見込みは平成 23 年 10 月 28 日発表の業績予想

※ 2012 年度の前提：原油価格（全日本 C I F 価格） 115 ドル 為替レート 80 円
〔2011 年度の予想：原油価格（全日本 C I F 価格） 110 ドル 為替レート 80 円〕

3. ガス・電力販売量計画

2012年度は、大阪ガス個別のガス販売量で8,621百万m³（2011年度(見込み)比0.0%増)、電力販売量で7,473百万kWh（2011年度(見込み)比5.2%減）を計画しています。

【ガス販売量（大阪ガス個別）】 45MJ/m³換算

家庭用	2,232百万m ³	(▲0.6%)
商・公・医用	1,512百万m ³	(▲2.6%)
工業用	4,404百万m ³	(+1.3%)
他ガス事業者向け	474百万m ³	(+0.1%)
ガス販売量合計	8,621百万m ³	(+0.0%)
お客さま数（年度末）	7,078千件	(+0.5%)

（連結）ガス販売量	8,652百万m ³	(+0.0%)
-----------	-----------------------	---------

【電力販売量】

合計	7,473百万kWh	(▲5.2%)
----	------------	---------

（ ）内は2011年度見込みからの増減率

4. 投資計画

2012年度は、連結では1,695億円の投資を計画しています。
なお、大阪ガス個別の設備投資は680億円の計画です。

		投資額
既存事業 品質向上投資		495億円
	国内エネルギーサービス事業	275億円
	海外エネルギーバリューチェーン事業	635億円
	環境・非エネルギー事業	290億円
新規事業 拡大投資		1,200億円
投資額合計		1,695億円

（参考：上記のうち）大阪ガス個別での設備投資	680億円
------------------------	-------

5. 2012～2016 年度 供給計画

(1) ガス需要見通し

2012 年度以降は、工業用を中心とした天然ガスコージェネレーションやガス空調機器の導入、燃料転換などによる新規需要の開発といった天然ガスシフトの進展による需要増加を見込み、2016 年度のガス販売量は 9,146 百万 m³となる計画です。この間の 5 年間の年平均伸び率は 1.2%です。

(単位：百万 m³、m³/月、%)

	2011 年度 (平成 23 年度) (実績見込)	2012 年度 (24 年度)	2013 年度 (25 年度)	2014 年度 (26 年度)	2015 年度 (27 年度)	2016 年度 (28 年度)	11～16 年度 年平均 伸び率
家庭用	-1.3 2,246	-0.6 2,232	-0.5 2,220	-0.3 2,214	-0.1 2,213	0.2 2,217	-0.3
業務用計	2.3 5,899	0.3 5,916	1.7 6,017	4.1 6,261	1.6 6,364	1.3 6,448	1.8
商業用	-3.8 931	-3.0 903	0.1 904	0.4 908	0.4 912	0.2 914	-0.4
工業用	5.0 4,346	1.3 4,404	2.0 4,490	5.2 4,724	2.0 4,816	1.6 4,896	2.4
公用・医療用	-5.2 622	-2.0 609	2.3 623	1.0 629	1.0 635	0.5 638	0.5
小計	1.3 8,145	0.0 8,148	1.1 8,237	2.9 8,476	1.2 8,577	1.0 8,664	1.2
他ガス事業者 への供給	-3.0 473	0.1 474	0.2 475	0.2 476	0.8 480	0.4 482	0.3
合計	1.1 8,619	0.0 8,621	1.1 8,712	2.7 8,951	1.2 9,056	1.0 9,146	1.2
家庭用 1 戸 当たり販売量	-1.9 32.1	-0.4 32.0	-0.7 31.7	-0.4 31.6	-0.2 31.5	0.1 31.6	-0.3

(注) 各欄の左肩は対前年伸び率(%)。販売量は 45MJ/m³で表示しており、届出値(46MJ/m³)と異なります。各区分で四捨五入しています。

なお、当社の供給区域内における新設工事件数は、以下のように年間約 7 万件前後の水準で推移するものと見込んでいます。

年度末のお客さま数(取付メーター数)は、2016 年度末には約 721 万件となる見込みです。

(単位：千件)

	2011 年度 (平成 23 年度) (実績見込)	2012 年度 (24 年度)	2013 年度 (25 年度)	2014 年度 (26 年度)	2015 年度 (27 年度)	2016 年度 (28 年度)	11～16 年度 年平均 伸び率
新設工事件数	-1.5 78	3.3 81	-1.7 79	-5.2 75	-7.5 70	-5.0 66	-3.3
お客さま数 (年度末)	0.5 7,045	0.5 7,078	0.5 7,115	0.5 7,150	0.5 7,183	0.4 7,214	0.5

(注) 左肩は対前年伸び率(%)

(2) 原料購入計画

需要の増加に対して適正な供給を確保するため、LNGおよびLPGの安定調達に努めます。2016年度には、LNGの購入量は755万t、LPGの購入量は22万tとなる計画です。

(単位：千t)

	2011年度 (平成23年度) (実績見込)	2012年度 (24年度)	2013年度 (25年度)	2014年度 (26年度)	2015年度 (27年度)	2016年度 (28年度)
LNG購入量	7,193	7,190	7,203	7,330	7,431	7,551
LPG購入量	157	158	171	184	197	223

(3) 設備投資計画

将来の需要増にも対応した供給能力の向上と安定供給体制の確保を目的とした三重・滋賀ラインおよび供給区域外に存在する工業用需要等へのガス供給を目的とした姫路・岡山ラインの建設等をはじめとする供給設備への投資を中心に、2012年度から2016年度の累計設備投資額は、2,900億円となる計画です。

*金額は各区分で切捨て表示 (単位：億円)

	2011年度 (平成23年度) (実績見込)	2012年度 (24年度)	2013年度 (25年度)	2014年度 (26年度)	2015年度 (27年度)	2016年度 (28年度)	12～16年度 合計
製造設備	59	78	63	85	106	56	391
供給設備	490	539	547	420	407	418	2,333
業務設備	41	61	34	24	24	24	169
附帯事業設備	1	0	1	1	1	1	7
合計	593	680	647	531	539	501	2,900

【主要製造設備計画】

設備名	容量	設置場所	設置年度
LNG貯蔵設備	23万kl	泉北製造所第一工場	2015年度(予定)

【主要導管計画】

路線名	総延長	区間	開通年度
三重・滋賀ライン	約60km*	滋賀県多賀町～三重県四日市市	2013年度(予定)
姫路・岡山ライン	約85km	兵庫県姫路市～岡山県岡山市	2014年度(予定)

*当社施工分は滋賀県多賀町～三重県いなべ市間の約23km

以上